

タンパク残渣の拭き取り試験

残留タンパク質検査 プロチェック E-W (株日建生物研究所)

プロチェック E-W はタンパク拭き取り試験キットです。

潜在的なアレルギー原材料も含めて、タンパクがよく洗浄・除去されているかいないかを簡単に判定することができます。

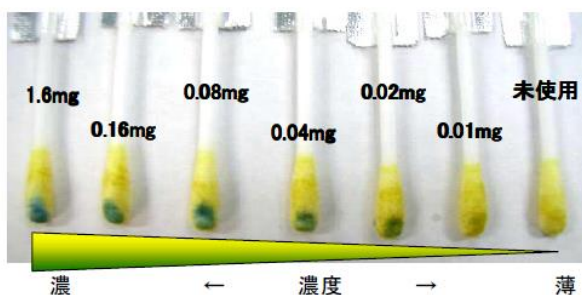
プロチェックE-Wの感度について

※ たんぱく質に色素が反応！！



◆ プロチェックE-Wは実際どの程度の反応をするの？

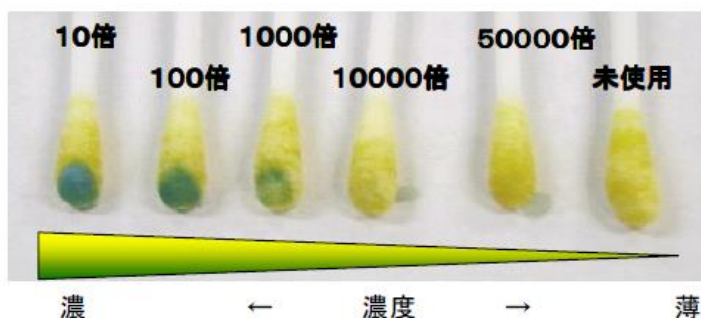
アルブミンを精製水で 1.6mg ~ 0.01mg までの6段階に希釈したものをプレパラートに塗り付けて冷蔵庫で1日乾燥させてから、プロチェックE-Wで拭き取った検査結果が下記の写真です。



※ 濃度が濃い(たんぱく質が多い)程、濃い緑に変色します。
※ アルブミンの濃度が 0.02mg でもあれば緑に変色します。

◆ 牛乳を使用して実験を行ってみました！

市販品の牛乳を10倍~50,000倍の5段階に希釈したものをプレパラートに塗り付けて冷蔵庫で1日乾燥させてから、プロチェックE-Wで拭き取った検査結果が下記の写真です。



牛乳で実験を行った結果、10倍~1,000倍まで薄めたものは、はっきりと反応が確認できます。10,000倍まで薄まった場合は、非常に薄くですが少し緑色への変色が確認できます。牛乳の場合、1,000倍まで薄めた状態でもはっきりと緑色へ変色します。そのため...

実際の作業現場にて目視確認するには十分な反応感度です。

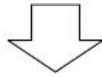
組成	含有量 wt %
無水エタノール	30~37
グリセリン	35~45
精製水	7~10
クエン酸一水和物	1.5~2
色素	0.05以下



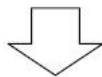
プロチェック E-W 使用方法の一例

※ 1本で2箇所の検査ができます！

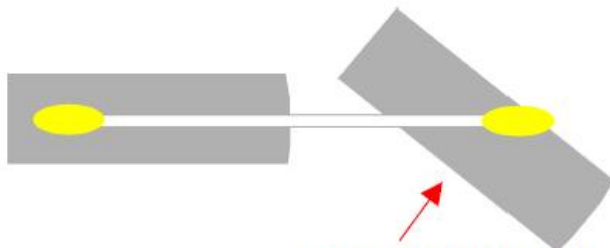
① プロチェック E-Wを切り離します。



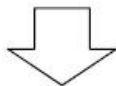
② 袋の真ん中(左右)に、手で切り込みを入れます。



③ 片側を強く抑え、もう一方の端を強く引っ張ると綿棒が露出します。



※この袋は捨てないで下さい！
後で有効に使用します。

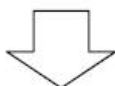


④ この状態で、検査ヶ所の表面を強くこすりつけます。

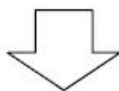
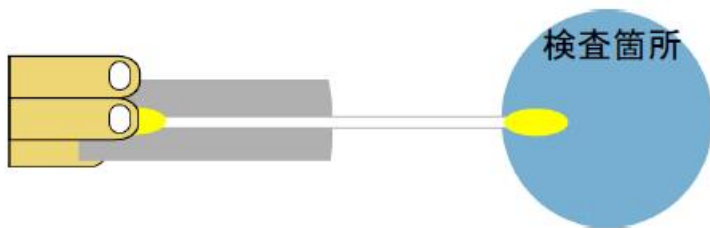


↑
袋を持ちます

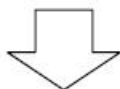
↑
こちらで検査ヶ所を拭き取ります。



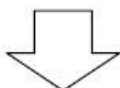
⑤ 検査ヶ所を綿球で強くふき取ります。



⑥ 陽性なら綿棒の色が黄色から、緑色に変色します。
(陽性 = 残留たんぱく質あり)



⑦ 綿球の使用していない方で別の検査箇所を検査します。
③で取り外した片方の袋で使用済みの綿棒を包みます。



⑧ 反対側の綿棒を利用し⑤の要領で検査ヶ所をふき取ってください。



プロチェックE-Wの使用後の洗浄について

- ◎ プロチェックE-Wで拭き取った検査箇所には色素が付着します。色素に害はございませんが、必ず水洗い又はアルコールで色素を拭き取って下さい。
- ◎ 拭き取った検査箇所が凹凸の場合、色素が完全に拭き取れないことがあります。その場合は、塩素系洗剤または酢酸(お酢)で洗浄して下さい。

使用上の注意

- ◎ 本品は保管中に成分の一部であるアルコールが蒸発し、綿球が黄色から赤色に変色する場合があります。その場合は、消毒用アルコールで綿棒を湿らせて頂くと問題なくご使用できます。